

冬のある日、高熱で救急外来を受診した子どもを一人のレジデントが診療していました。私はたまたまその場に居合わせていたのですが、診療中にその子どもが熱性けいれんを起こしてしまったのです。レジデントは優秀でした。看護師への指示、酸素投与、末梢静脈確保と採血を手際よく済ませ、「ミダゾラムを準備してください」と看護師に伝えました。そこで私は彼に尋ねました。「先生はいつも保護者に、熱性けいれんが起きたらどうするように伝えていますか？」すると彼は「あ……」と声をあげ、ミダゾラムの準備をやめました。けいれんは、ほどなくして治まりました。

熱性けいれんは見た目こそ激しいものの、多くは自然に治まる良性の発作です。もちろんレジデントの彼もそのことは知っていたはずですが、それでも、実際にけいれんを目の前にすると慌ててしまうのです。医療者でさえそうなのですから、わが子のけいれんを初めて目の当たりにした親御さんの恐怖は、想像に難くありません。だからこそ私たちは、けいれん・てんかん発作について正しい知識をもち、それが何であるのかを丁寧に説明し、安心していただく必要があります。本特集が、その一助となれば幸いです。

(日馬由貴)

▶▶▶ NEXT ISSUE 2026.6 Vol.29 No.6

特集 家で子どもを“みる” ～ホームケアのすゝめ、ケガ・その他編～

(企画：坂本昌彦)

- 1) 頭部打撲後に注意すべき症状と対応……………池山由紀
- 2) すり傷・切り傷のケアにおけるエビデンス……………上原理恵
- 3) やけど対応のアップデート～冷却時間・観察のポイント・
受診の目安……………木村 翔
- 4) 鼻やのどの外傷の適切な対応……………清水雄太
- 5) 歯の外傷における応急処置……………佐々木明彦
- 6) 打撲・ねんざ・骨折の見極めと応急処置のポイント……………黒田 駿
- 7) 眼のケガとその対応……………野田英一郎
- 8) 家庭内誤飲事故の現状と対応～注意すべきモノと相談先……………坂本昌彦
- 9) のどに物を詰ませたときの対応～窒息の初期対応と予防策……………大平智子
- 10) 虫刺されとアレルギー～初期対応の実際……………重田大輔
- 11) 熱中症～早めの対応が重症化を防ぐ……………久我修二
- 12) ケガの初期対応に必要なもの～救急セットを見直そう……………野村さちい

*場合によってタイトル・内容に変更が生じることもあります。ご了承ください。

チャイルドヘルスの創刊趣旨

少子化の時代となり、子どもを健全に育成することは、ますます重要となりました。そのためには医療の充実も必要ですが、基本となる育児、保健が強化されなければなりません。本誌はこの意図に沿って、人生の基礎となる乳児、幼児、小学生を対象として、育児、保健を科学的、実践的に扱うことを目標としています。

■編集委員 (五十音順)

岡本光宏 日馬由貴 小林穂高 岬 美穂
〔前編集委員〕
石崎優子 伊藤健太 岡藤郁夫 坂本昌彦

■編集顧問 (五十音順)

秋山千枝子 石崎朝世 植松紀子 内海裕美
太田文夫 加藤則子 川上一恵 北川道弘
佐藤紀子 佐山圭子 渋谷紀子 鈴木葉子
砂川富正 瀧本秀美 田原卓浩 多屋馨子
成相昭吉 成田雅美 萩原温久 原田正平
広瀬宏之 堀川美和子 堀向健太 松浦信夫
村田光範 湯汲英史 横内裕佳子

■協力者 (五十音順)

磯谷文明 太田百合子 鈴木みゆき
たけながかずこ 田中総一郎 田中康雄
堤ちはる 中板育美 中川信子 服部益治
馬場直子 帆足英一 堀口寿広 益子まり
三浦義孝 峯 真人 三宅 健 安井良則
山中龍宏

チャイルドヘルス

Vol.29 No.5 2026年5月号
2026年5月1日発行

定価 1,870円 (本体 1,700円+税 10%)

■編集兼発行者

藤実正太

■編集担当

勢田玲生 西川弘美 寺町多恵子

■発行所

(株) 診断と治療社

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2

山王グランドビル 4階

TEL 03-3580-2770 (営業), 03-3580-2750 (編集)

FAX 03-3580-2776

<https://www.shindan.co.jp/>

eigyobu@shindan.co.jp (営業),

hen@shindan.co.jp (編集)

※正誤表・更新情報につきましては、当社HPをご覧ください。

■印刷所 三報社印刷株式会社

© 2026 Printed in Japan

予約購読のお申し込み

2026 年年間前金予約割引購読料 22,216 円 (税込)

予約購読は最寄りの医学書取扱書店または

弊社ホームページでお申し込みください。

毎月の送料は弊社で負担いたします。

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原作者の権利は株式会社診断と治療社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail:info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

本誌を無断で複製 (複写・スキャン・デジタルデータ化を含みます) する行為は、著作権法上での限られた例外 (「私的使用のための複製」など) を除き禁じられています。大学・病院・企業などにおいて内部的に業務上使用する目的で上記行為を行うことも、私的使用には該当せず違法です。また、私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記行為を行うことは違法です。

・「チャイルドヘルス」は、株式会社診断と治療社の登録商標です。